

直近の家庭用牛乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回発信日は10月27日週報(予定)

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「～家庭内消費は前週より増加も前年をやや下回る～継続的な需要拡大で機運醸成を～」

- ・10/10週の牛乳類の家庭内消費は、依然として前年を下回る水準となったものの、全品目総じて前週(10.3週)よりも販売個数は増加し、前年減少率は縮小した。牛乳はコロナ前の19年度実績と比較するとやや下回る水準となっている。
- ・ヨーグルト類については、全品目総じて前週よりも販売個数は増加し、ドリンクタイプは再び前年を上回る結果となった。一方、個食タイプ、大容量タイプは前年を下回った。
- ・10/10週の全国の天候は、10/3週と比較すると降水量が少なく、気温も前年よりも高かったことが消費を押し上げた要因と考えられる。牛乳類全体で、全国では低調な水準となっているものの、とりわけ大消費地である京浜地区は100.9%と全体をけん引したことから、減少幅が抑制された結果となった。
- ・家庭内消費は、引き続き厳しい販売状況が継続する見込みであり、一方で全国の生産量は例年冬に向けて今後増加する傾向にあるため、乳製品向けの仕向量は昨年を上回ると想定される。年末年始に向けて、再び処理不可能乳の発生が懸念されているなか、回避のためには、家庭内における飲用需要の底上げが不可欠であるため、11月からの価格改定の影響を注視しつつ、業界内外を巻き込んだ継続的な需要拡大の取り組みによる牛乳製品の消費機運を高めることが重要となる。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(10/10週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同98.3%、成分調整牛乳：同97.7%、加工乳：同96.9%、乳飲料：同99.0%。

牛乳類トータルでは同98.3%

※参考：2020年度比は、牛乳：97.2%、成分調整牛乳：94.7%、加工乳：101.3%、乳飲料：91.2%(牛乳類トータル：96.2%)

※参考：2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は99.3%。

・販売単価は、牛乳：190.0円、成分調整牛乳：173.3円、加工乳：189.8円、乳飲料：149.5円。

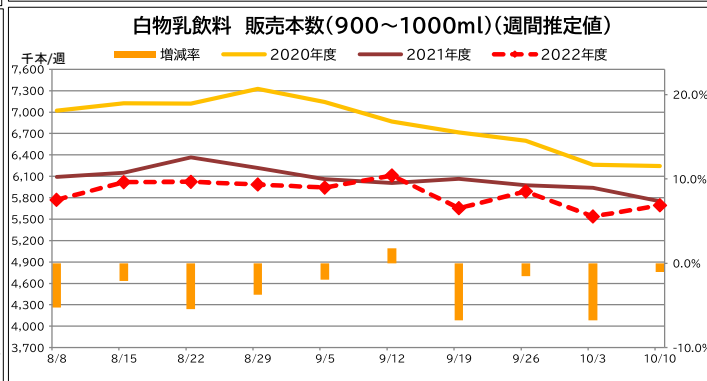
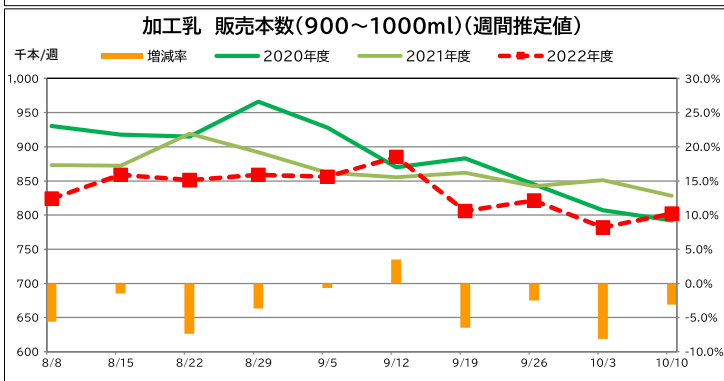
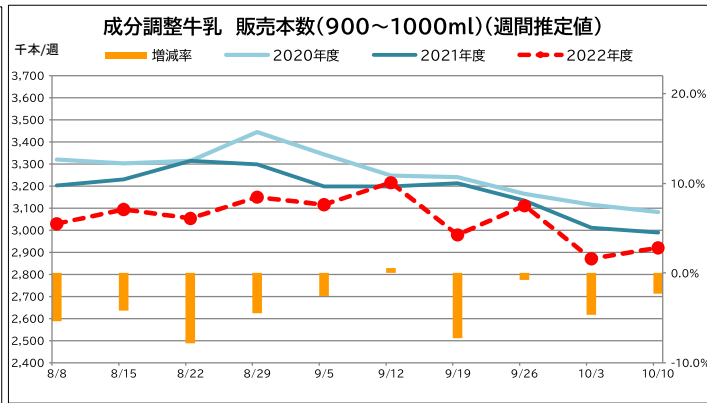
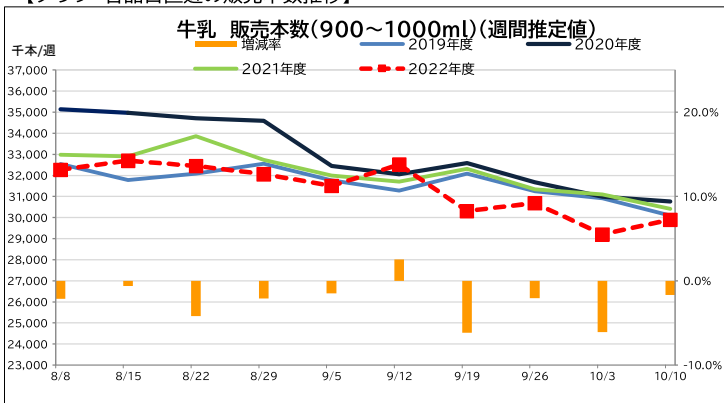
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	8.22-	8.29-	9.5-	9.12-	9.19-	9.26-	10.3-	10.10-
トータル	販売個数	42,379	42,058	41,428	42,725	39,757	40,513	38,395	39,317
	販売個数前年比	95.3	97.5	98.4	102.3	93.7	98.1	93.9	98.3
	販売単価	183.4	183.5	183.3	183.8	183.3	182.9	183.4	182.9
牛乳	販売個数	32,450	32,062	31,512	32,511	30,316	30,693	29,203	29,901
	販売個数前年比	95.8	97.9	98.5	102.5	93.8	97.9	93.9	98.3
	販売単価	190.3	190.4	190.3	190.7	190.3	190.1	190.6	190.0
成分調整牛乳	販売個数	3,054	3,150	3,116	3,216	2,979	3,111	2,871	2,921
	販売個数前年比	92.2	95.5	97.5	100.6	92.7	99.2	95.3	97.7
	販売単価	175.0	174.2	174.5	174.4	174.3	173.6	174.1	173.3
加工乳	販売個数	851	859	856	885	806	821	782	802
	販売個数前年比	92.5	96.3	99.2	103.5	93.4	97.5	91.9	96.9
	販売単価	190.1	190.1	189.6	191.4	190.4	190.1	189.5	189.8
乳飲料	販売個数	6,025	5,987	5,944	6,113	5,656	5,888	5,539	5,694
	販売個数前年比	94.6	96.2	98.0	101.8	93.2	98.5	93.2	99.0
	販売単価	149.7	150.0	150.1	150.6	150.0	149.5	149.7	149.5

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(10/10週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)全品目通じて販売個数が前週よりも増加し、特にドリンクタイプは前年を上回る水準となった。

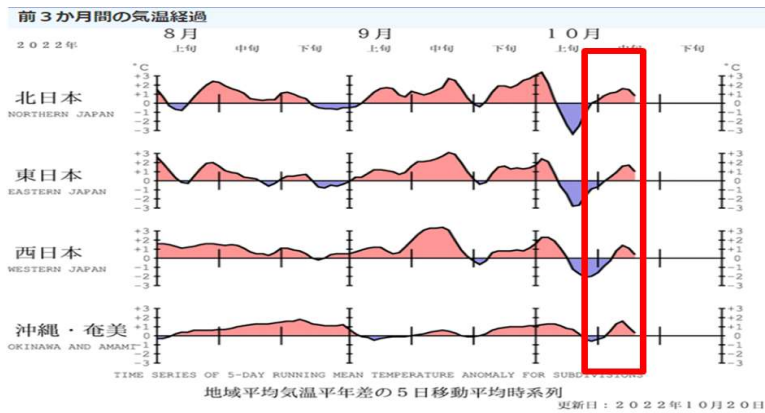
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	8.22-	8.29-	9.5-	9.12-	9.19-	9.26-	10.3-	10.10-
ドリンクタイプ	➡	➡	⬇	➡	⬇	➡	⬇	➡
個食タイプ	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇
大容量タイプ	⬇	⬇	⬇	➡	⬇	⬇	⬇	⬇

- ⬇ : 前年比90%未満
- ↔ : 前年比105%以上110%未満
- ⬇ : 前年比90%以上100%未満
- ⬆ : 前年比110%以上120%未満
- ➡ : 前年比100%以上105%未満
- ⬆ : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※10/10週の気温経過 出典:気象庁



※「2022年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」